



2020年3月期 第2四半期 決算説明会資料

ゲオホールディングス(2681)

November.11.2019

GEO HOLDINGS CORPORATION



本資料の記載内容

- 1 2020年3月期 第2四半期 連結業績
- 2 2020年3月期 第2四半期 商材別実績
- 3 ゲオグループの取組み
- 4 2020年3月期 業績予想進捗
- 5 配当・株主還元
- 6 補足資料
- 7 グループ概要

2020年3月期 第2四半期連結業績

1

売上高、売上総利益共に前期を上回る

・ 2020年3月期第2四半期：連結損益計算書

売上高前年同期比104.1%、売上総利益前年同期比100.9%と前年実績を上回るも、販売管理費の増加により、営業利益・経常利益は、前年同期比62.6%・59.9%と前年同期を下回る結果となりました。

単位：百万円	19.3月期 2Q実績	20.3月期 2Q実績	増減	前期比
売上高	132,573	138,048	5,475	104.1%
売上総利益	59,454	59,965	511	100.9%
(売上総利益率)	44.8%	43.4%		
販管費	52,132	55,383	3,251	106.2%
営業利益	7,321	4,581	△2,740	62.6%
(営業利益率)	5.5%	3.3%		
経常利益	8,186	4,906	△3,280	59.9%
当期純利益	4,981	2,696	△2,285	54.1%

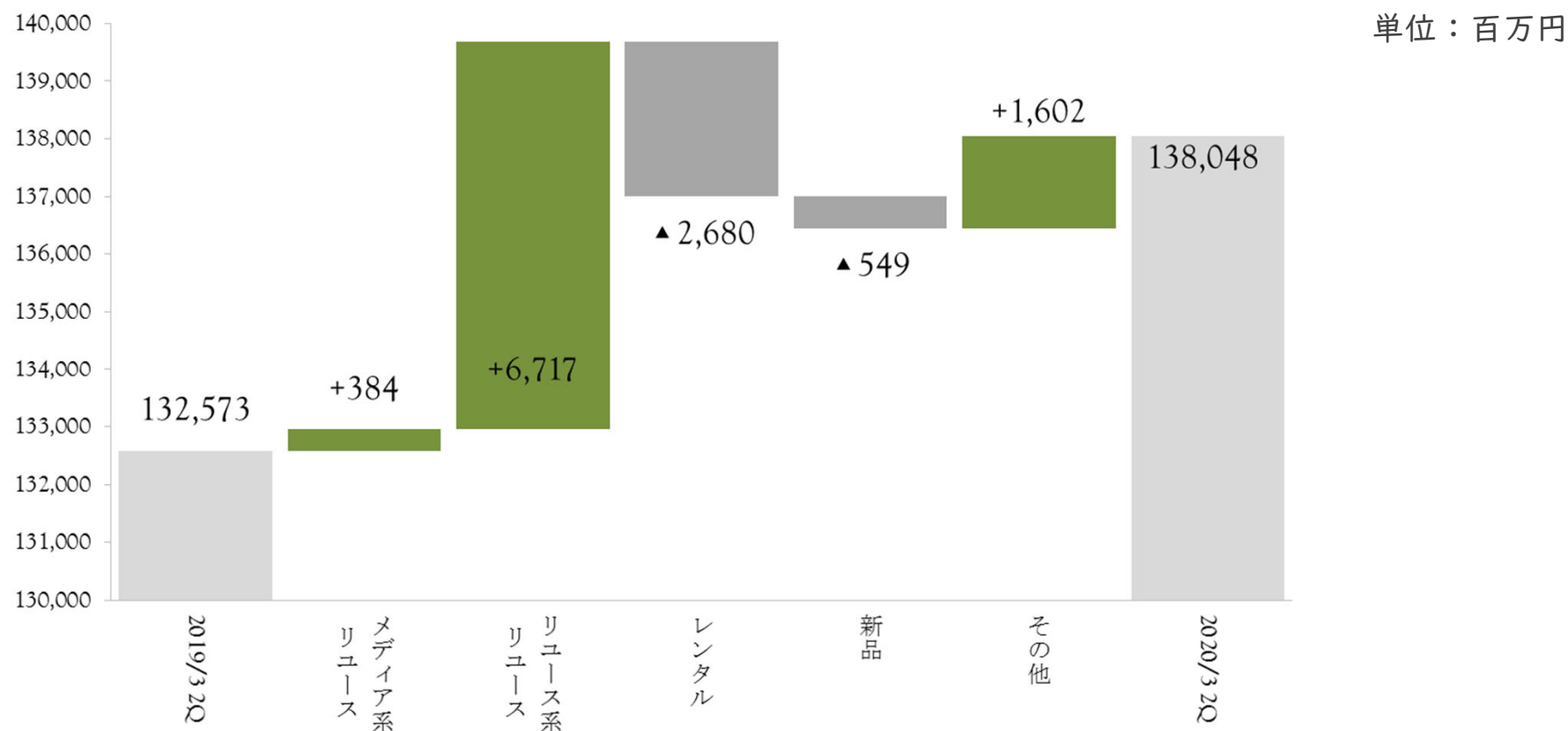
※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

1

リユース系リユース商材売上大幅増

・ 2020年3月期第2四半期：売上高前年同期比増減

レンタルの減少は継続しておりますが、セカンドストリート既存店の成長継続と第1四半期に株式取得いたしました「おお蔵」の寄与によるリユース系リユース商材の売上高増加により前年同期比104.1%と増収となりました。

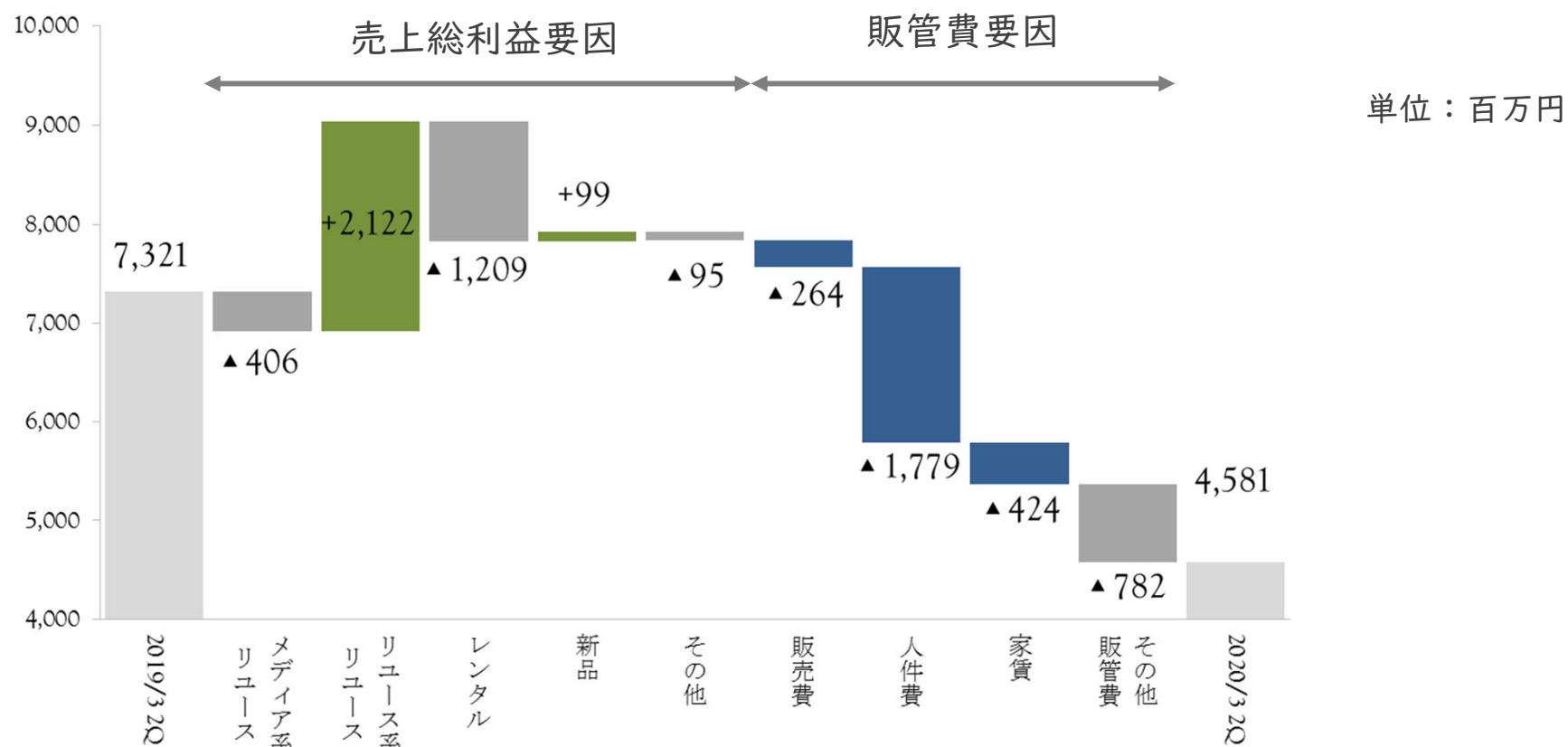


1

販管費増加により営業利益減

- ・ 2020年3月期第2四半期：営業利益 前年同期比増減

売上総利益は前年同水準でありましたが、出店に伴う家賃、備品消耗品費等の増加、並びに人件費増加により、営業利益は前年同期比62.6%となりました。



※販管費の増減額について▲は損益の減少

1

人件費増加傾向継続

人件費単価の上昇傾向に加え、出店に伴う地代家賃、備品消耗品費等の増加もあり販売管理費は、前年同期比106.2%と増加いたしました。

短時間労働者への有給休暇取得義務化や今後想定される人件費増に対応すべく店舗のオペレーション効率化に継続的に取り組んでおります。

単位：百万円	19.3月期		20.3月期		増減	(前期比)
	2Q実績	(売上比)	2Q実績	(売上比)		
販売費計	4,762	3.6%	5,027	3.6%	264	105.5%
広告宣伝費	1,570	1.2%	1,813	1.3%	243	115.5%
販売促進費	294	0.2%	228	0.2%	△66	77.6%
人件費計	26,128	19.7%	27,908	20.2%	1,779	106.8%
その他諸経費計	21,240	16.0%	22,448	16.3%	1,207	105.7%
水道光熱費	2,130	1.6%	1,897	1.4%	△232	89.1%
地代家賃	10,880	8.2%	11,304	8.2%	424	103.9%
減価償却費	1,768	1.3%	1,936	1.4%	168	109.5%
備品消耗品費	829	0.6%	1,117	0.8%	288	134.7%
修繕費	755	0.6%	377	0.3%	△378	49.9%
販管費計	52,132	39.3%	55,383	40.1%	3,251	106.2%

販管費の増減額について、▲は損益の増加

2020年3月期第2四半期 商材別実績

2

既存店リユース系リユース商材の伸長継続

・ 商材別売上高（2Q）

レンタル売上の減少傾向が厳しいものとなりましたが、リユース系リユース商材の既存店売上は引き続き好調な推移が続き、レンタルの売上減をカバーいたしました。

単位：百万円	19.3月期 2Q実績	20.3月期 2Q実績	前期比	増減額
リユース	50,492	57,593	114.1%	7,101
メディア系	26,539	26,923	101.4%	384
リユース系	23,953	30,670	128.0%	6,717
レンタル	32,291	29,610	91.7%	△2,681
新品	33,380	32,830	98.4%	△549
その他	16,410	18,013	109.8%	1,603
合計	132,573	138,048	104.1%	5,475

2

商材構成比の変化により、売上総利益は増加

・ 商材別売上総利益（2Q）

レンタル及びメディア系リユースの粗利の減少をリユース系リユースの増加で、カバーすることができました。粗利率の高いリユース商材が増加したことにより商材構成比が変化し、前年同期並みの売上総利益（粗利）を確保いたしました。

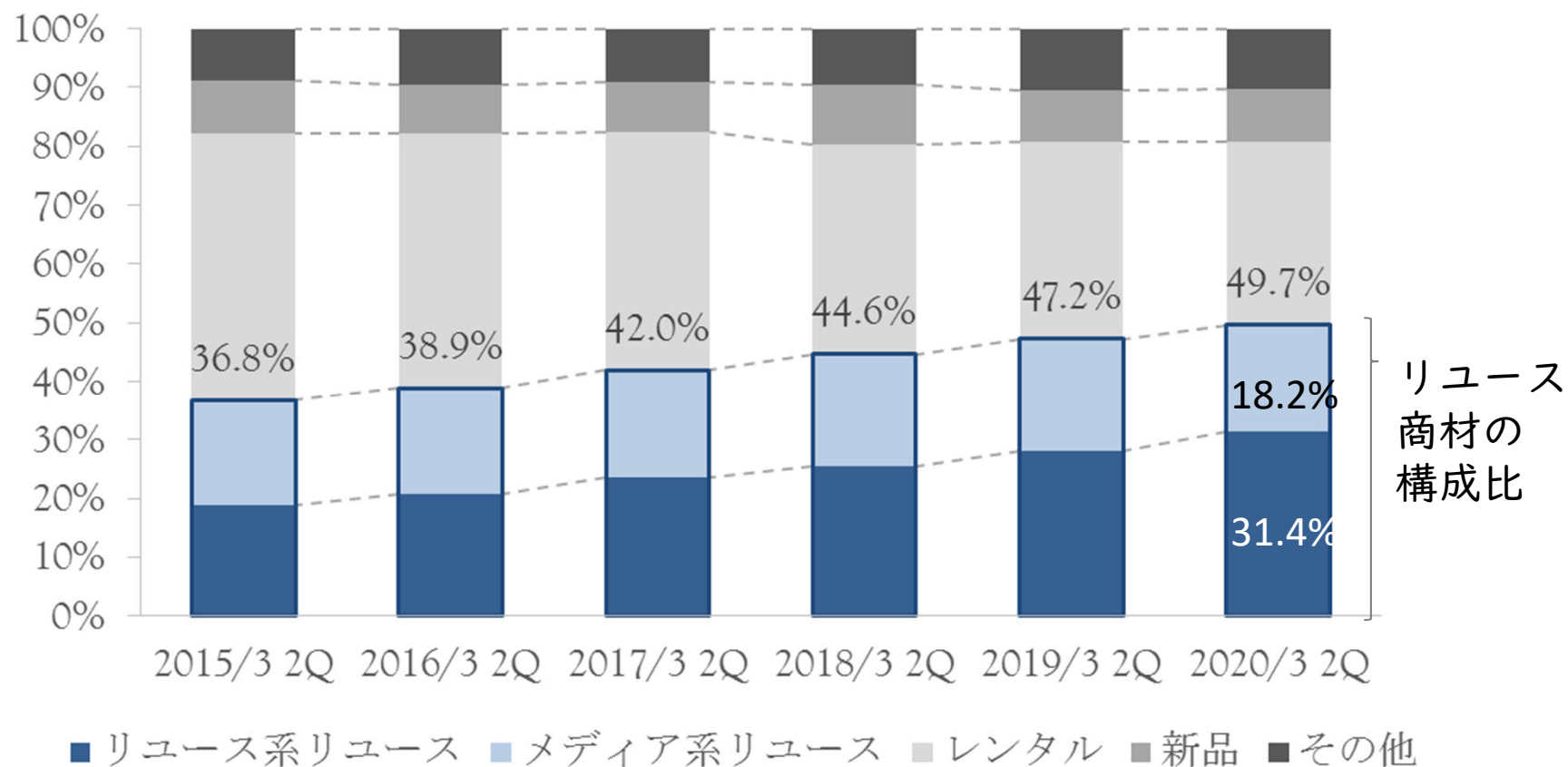
単位：百万円	19.3月期 2Q実績	20.3月期 2Q実績	前期比	増減額
リユース	28,070	29,786	106.1%	1,716
メディア系	11,337	10,931	96.4%	△406
リユース系	16,732	18,855	112.7%	2,123
レンタル	19,903	18,694	93.9%	△1,209
新品	5,266	5,365	101.9%	99
その他	6,216	6,119	98.5%	△96
合計	59,454	59,965	100.9%	511

2

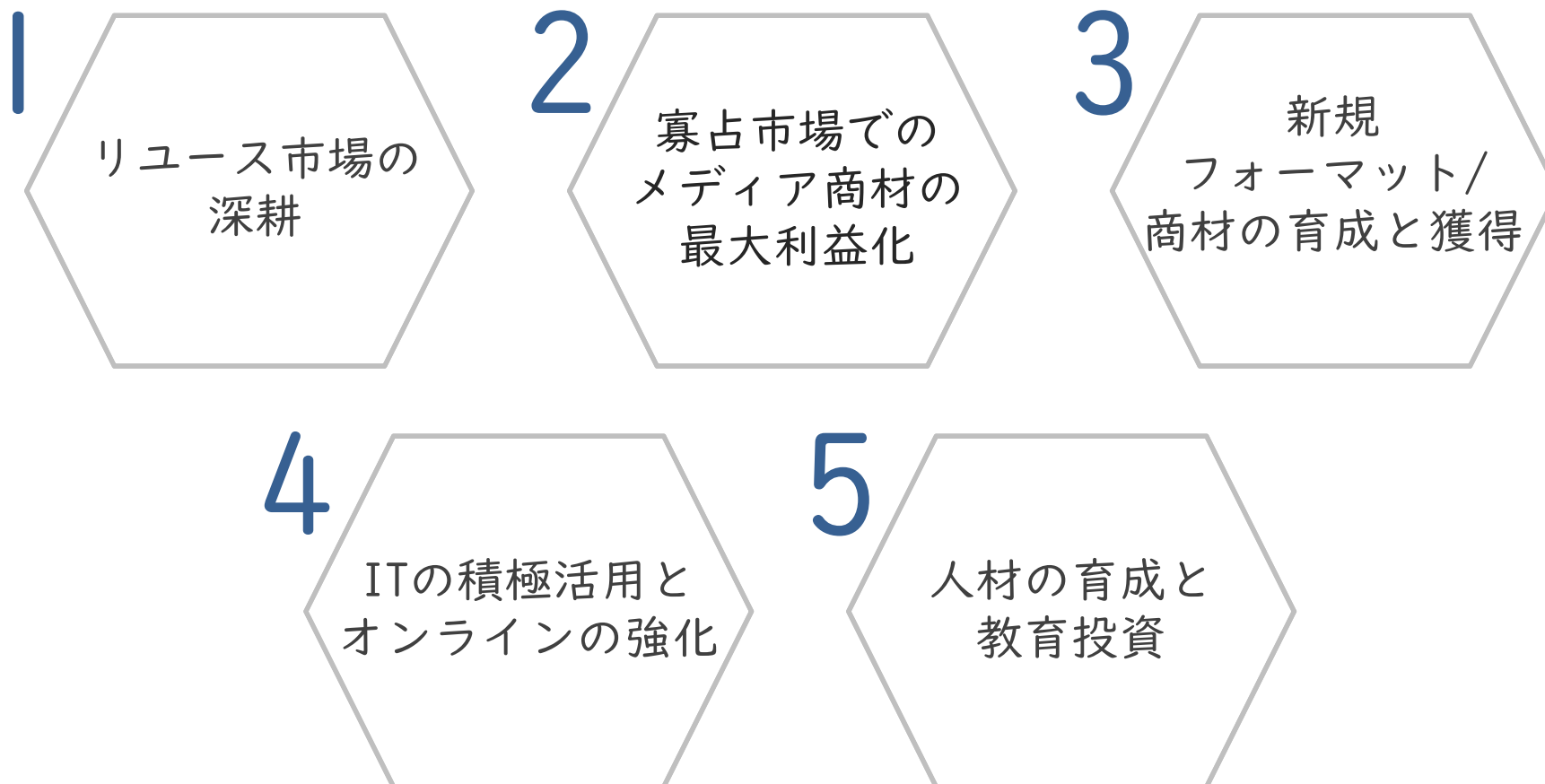
当社グループの売上総利益（構成比）の推移

・ 商材別売上総利益構成比（2Q）

リユース系リユース商材の構成比が年々高まり、当第2四半期では49.7%とリユース商材による売上総利益が50%に近づいてまいりました。







ジオグループの取組み

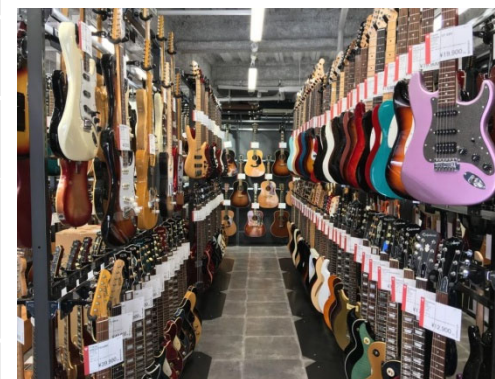


3

ジオグループ店舗数の状況

・ 総店舗数 1,899店

	2019年 3月末	2019年 9月末	増減
ジオグループ店舗施設	1,878	1,899	21
小売サービス店舗	1,866	1,886	20
 ジョショップ	1,203	1,191	△12
直営店	1,026	1,027	1
代理店・FC店	177	164	△13
 ジョモバイルショップ	17	21	4
 セカンドストリート※	630	648	18
直営店	578	595	17
FC店	52	53	1
その他	16	26	10
 アミューズメント施設	12	13	1



セカンドストリート下北沢店楽器館
(東京都世田谷区)

※ スーパーセカンドストリート・ジャンブルストア・セカンドアウトドア・買取専門店等を含む

3

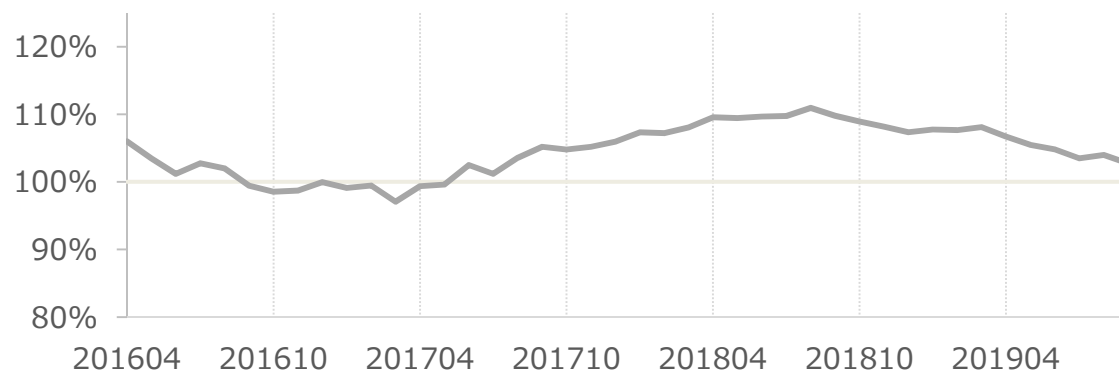
リユース市場の深耕①

・リユース系リユース商材の既存店売上高伸長継続

リユース市場の伸長と店舗数増加による「セカンドストリート」ブランドの認知向上を背景に、「セカンドストリート」既存店売上高は好調な推移が続いています。総合リユース業態のほか、大型店「スーパーセカンドストリート」、ラグジュアリーブランド特化型店、アウトドア専門店、楽器専門店、買取専門店等の専門店業態での出店も加えることにより、リユース市場の深耕を続けております。

既存店売上高前年比の推移 (3ヶ月移動平均)

セカンドストリート既存店



スーパーセカンドストリートイオン仙台中山店 (仙台市泉区)



ラグジュアリーブランド特化型コンセプトショップ
セカンドストリート神戸三宮センター街店 (神戸市中央区)

3

リユース市場の深耕②

・セカンドストリートの海外展開

セカンドストリートの海外展開として、現在、アメリカ西海岸で3店舗の運営、マレーシアでは卸売業と3店舗の運営を行っております。

さらに、アメリカ東海岸に出店を予定しており、台湾でも子会社(台湾極沃股份有限公司)を設立(2019年8月)して台湾台北市に今期中の出店を目指しております。



セカンドストリートカスタメサ店(カリフォルニア州)



セカンドストリートBU店(マレーシアプタリンジャヤ)

3

リユース市場の深耕③

・リユーススマートフォンへのアクセス基盤整備

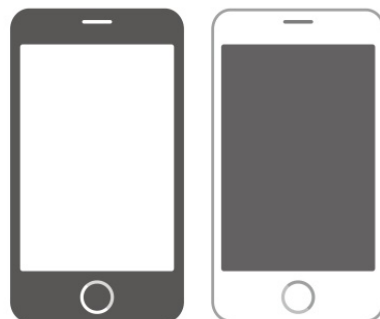
端末代と通信料の分離により新品端末購入の負担感が増し、スマートフォンのリユース市場はさらなる活性化が見込まれています。人材教育継続と専門スタッフ配置拠点数拡大により携帯電話・スマートフォンのリユース市場を牽引していきます。

専門スタッフ（人）

899 ◀ 625

2019年9月時点

2019年3月時点



専門スタッフ配置拠点数（店）

210 ◀ 153

2019年9月時点

2019年3月時点



※専門スタッフとは、モバイル知識を有し、お客様のニーズに合ったモバイル商品のご案内や格安SIMなどの料金説明が出来る当社基準を満たした従業員です。

・家電製品の買取販売拡充

メディア商材と親和性が高いテレビやオーディオ機器などの黒物家電やパソコンを中心に、ゲオショップでも800店舗超で家電製品の買取を開始しております。家電製品の販売を実施しているゲオショップに集約し、動作確認とクリーニングを実施して販売しています。



スマートフォン上でレンタルDVD・CDの選択から注文・決済までを行い、店内のロッカーで商品を受け取ることができる、業界初の“非対面式ロッカー型レンタルショップ”「GEO SPEED（ゲオスピード）」を開発いたしました。今後もお客様の利便性を高めるための店舗革新を進めてまいります。



当社のサービスのうち、小売サービスにおける電子商取引が関与した売上高を比較。

	19.3月期 2Q実績	20.3月期 2Q実績	前期比
EC関与売上高 (百万円)	4,363	5,911	135.5%
EC関与販売数	969,130	1,418,519	146.4%

EC併売等お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤整備に努めてまいります。

3

新規フォーマットの開発



Luck・Rack CLEARANCE MARKET

(ラック・ラック クリアランス マーケット)

Luck・Rack
CLEARANCE MARKET

OPS (オフプライスストア) 業態とはアパレルメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品全てをいつでもセール価格で提供する業態です。

7月に大阪府八尾市に2号店を出店し、ゲオとの併設店の出店も含め地域特性を見極めながらチェーン展開を計画しております。



ラック・ラック クリアランス マーケット八尾店 (大阪府八尾市)

リユースラグジュアリー部門の強化

第1四半期に取得した「おお蔵」の高級時計、ブランドバックなどのラグジュアリーブランドのリユース商材調達力を活かし、専門店の出店のほかセカンドストリートにおいても立地特性に合わせてラグジュアリー強化店も展開し、国内リユース市場におけるラグジュアリー商材部門でもNo.1を目指してまいります。



セカンドストリート心齋橋中央店店内 (大阪市中央区)

2020年3月期 業績予想進捗

4

2020年3月期 業績予想進捗

- ・ レンタル市場縮小傾向継続想定下、リユースの伸長により売上高6.0%増の3,100億円を想定。
- ・ 出店を含めたリユースへの投資継続及び新たな小売事業フォーマット・新規商材開拓を行うため減益を想定。
- ・ 衣料服飾主軸のリユース店舗の出店継続に加えて、ラグジュアリーブランド商材専門店業態・買取専門店業態にも積極的に取り組み、また物流整備を含めた電子商取引対応への投資を行い、シームレスな売買・レンタル環境を整備する。

単位：百万円	20.3月期 通期予想	対前期比 増減率	20.3月期 2Q時進捗率
売上高	310,000	6.0%	44.5%
営業利益	10,000	△36.2%	45.8%
経常利益	10,500	△40.5%	46.7%
当期純利益	5,250	△49.0%	51.6%

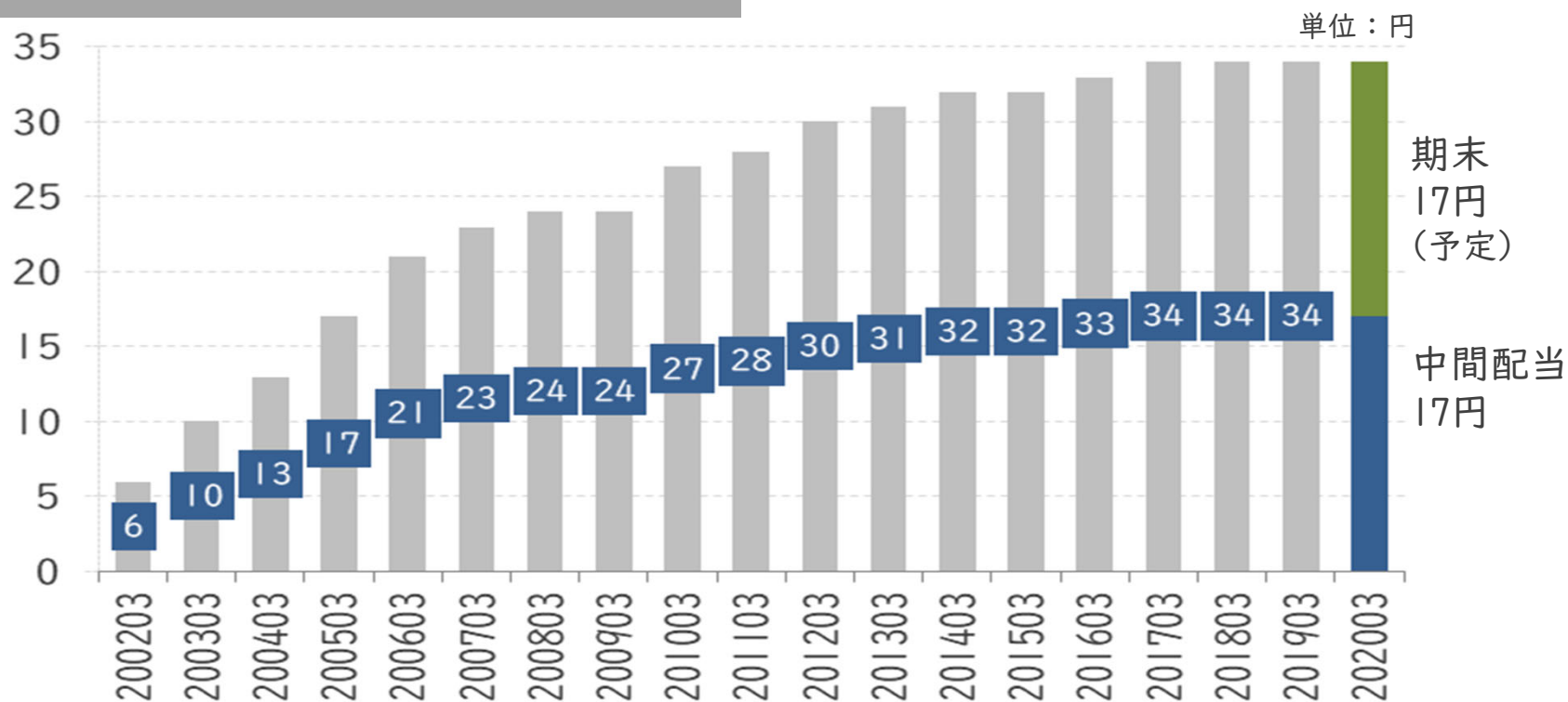
配当・株主還元

5

配当方針

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

分割調整後の1株当たり配当額推移



5

自己株式の取得状況

■取締役会（2019年6月28日）決議内容

- | | |
|---------------|----------------------|
| （1）取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| （2）取得し得る株式の総数 | 1,540,000株（上限） |
| （3）株式の取得価格の総額 | 2,020,000,000円（上限） |
| （4）取得期間 | 2019年7月1日～2020年3月24日 |

■取得状況（2019年9月30日現在）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| （1）累積取得自己株式数（進捗率） | 1,090,600株（70.8%） |
| （2）累積取得価格の総額（進捗率） | 1,414,698,300円（70.0%） |

自己株式取得実績

取得期間	取得方法	取得株数 (千株)	取得価額 (百万円)
2018年5月11日～2018年6月7日	公開買付	4,039	6,308
2017年6月8日～2017年6月22日	信託方式による市場買付	450	525
2015年11月4日～2015年12月2日	公開買付	4,500	7,425
2014年9月3日～2015年6月23日	信託方式による市場買付	1,720	1,645

補足資料

6

2020年3月期2Q：連結貸借対照表

	単位：百万円	2019年3月末	構成比	2019年9月末	構成比	増減額
流動資産		84,406	61.8%	86,102	61.0%	1,695
現金及び預金		35,789		32,257		△3,532
商品		35,071		38,538		3,466
固定資産		52,183	38.2%	55,081	39.0%	2,897
有形固定資産		27,978		29,112		1,133
無形固定資産		1,517		3,157		1,639
投資その他資産		22,688		22,811		122
資産合計		136,590	-	141,183	-	4,592
流動負債		31,380	23.0%	32,785	23.2%	1,404
買掛金		11,484		14,209		2,724
短期借入金		-		1,750		1,750
1年以内返済予定の長期借入金		4,203		3,292		△911
固定負債		30,599	22.4%	33,218	23.5%	2,618
長期借入金		21,193		23,662		2,468
負債合計		61,980	45.4%	66,004	46.8%	4,023
自己株式		△0		△1,414		△1,414
純資産合計		74,609	54.6%	75,179	53.2%	569
負債純資産合計		136,590	-	141,183	-	4,592

6

2020年3月期2Q : 連結損益計算書

単位：百万円	19.3月期				20.3月期			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高	64,425	68,148	84,778	75,208	63,918	74,130		
(前期比)	104.9%	91.2%	99.6%	96.4%	99.2%	108.8%		
売上総利益	29,093	30,360	32,365	29,953	29,728	30,236		
(前期比)	104.5%	99.6%	101.5%	102.0%	102.2%	99.6%		
(売上総利益率)	45.2%	44.6%	38.2%	39.8%	46.5%	40.8%		
販管費	25,368	26,763	26,753	27,218	27,126	28,256		
(前期比)	102.2%	102.7%	101.4%	98.4%	106.9%	105.6%		
営業利益	3,724	3,596	5,612	2,734	2,602	1,979		
(前期比)	122.7%	81.3%	101.6%	162.4%	69.9%	55.0%		

6

商材別売上高（会計期間）

単位：百万円	19.3月期	19.3月期	19.3月期	19.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
リユース	25,421	25,071	28,936	27,237	26,530	31,063		
メディア系	13,278	13,260	13,651	13,982	12,914	14,008		
リユース系	12,142	11,810	15,284	13,254	13,615	17,055		
レンタル	15,508	16,782	15,130	14,866	14,784	14,826		
新品	15,575	17,804	31,401	24,437	13,736	19,094		
その他	7,922	8,491	9,310	8,666	8,867	9,146		
合計	64,425	68,148	84,778	75,208	63,918	74,130		

6

商材別売上総利益（会計期間）

単位：百万円	19.3月期 1Q 実績	19.3月期 2Q 実績	19.3月期 3Q 実績	19.3月期 4Q 実績	20.3月期 1Q 実績	20.3月期 2Q 実績	20.3月期 3Q 実績	20.3月期 4Q 実績
リユース	14,198	13,872	16,064	14,615	14,827	14,958		
メディア系	5,556	5,781	5,814	5,801	5,427	5,503		
リユース系	8,641	8,091	10,250	8,813	9,400	9,454		
レンタル	9,420	10,483	9,260	9,122	9,361	9,333		
新品	2,462	2,803	4,014	3,165	2,379	2,986		
その他	3,014	3,202	3,025	3,049	3,160	2,957		
合計	29,093	30,360	32,365	29,953	29,728	30,236		
粗利率	45.2%	44.6%	38.2%	39.8%	46.5%	40.8%		

6

2020年3月期第2四半期：連結キャッシュフロー

		19.3月期	20.3月期	増減額
		2 Q	2 Q	
単位：百万円				
	うち減価償却費	2,042	2,267	225
	うちレンタル用資産減価償却費	3,183	2,846	△337
	うちレンタル用資産取得による支出	△2,649	△2,311	338
	営業C F 小計	5,923	6,413	490
	うち法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,696	△3,137	1,559
営業C F		1,811	3,209	1,398
	うち有形固定資産の取得による支出	△2,105	△2,984	△879
投資C F		△3,007	△6,658	△3,651
	うち長期借入による収入	3,100	3,500	400
	うち長期借入金の返済による支出	△3,000	△2,348	652
	うち配当金の支払額	△812	△748	64
	うち自己株式の取得による支出	△6,308	△1,414	4,894
財務C F		△7,086	△1,436	5,650
	現金及び現金同等物の増減額	△8,282	△4,889	3,393
	現金及び現金同等物の期末残高	36,960	33,966	△2,994
	フリーキャッシュ・フロー（簡易）	△1,196	△3,449	△2,253

グループ概要

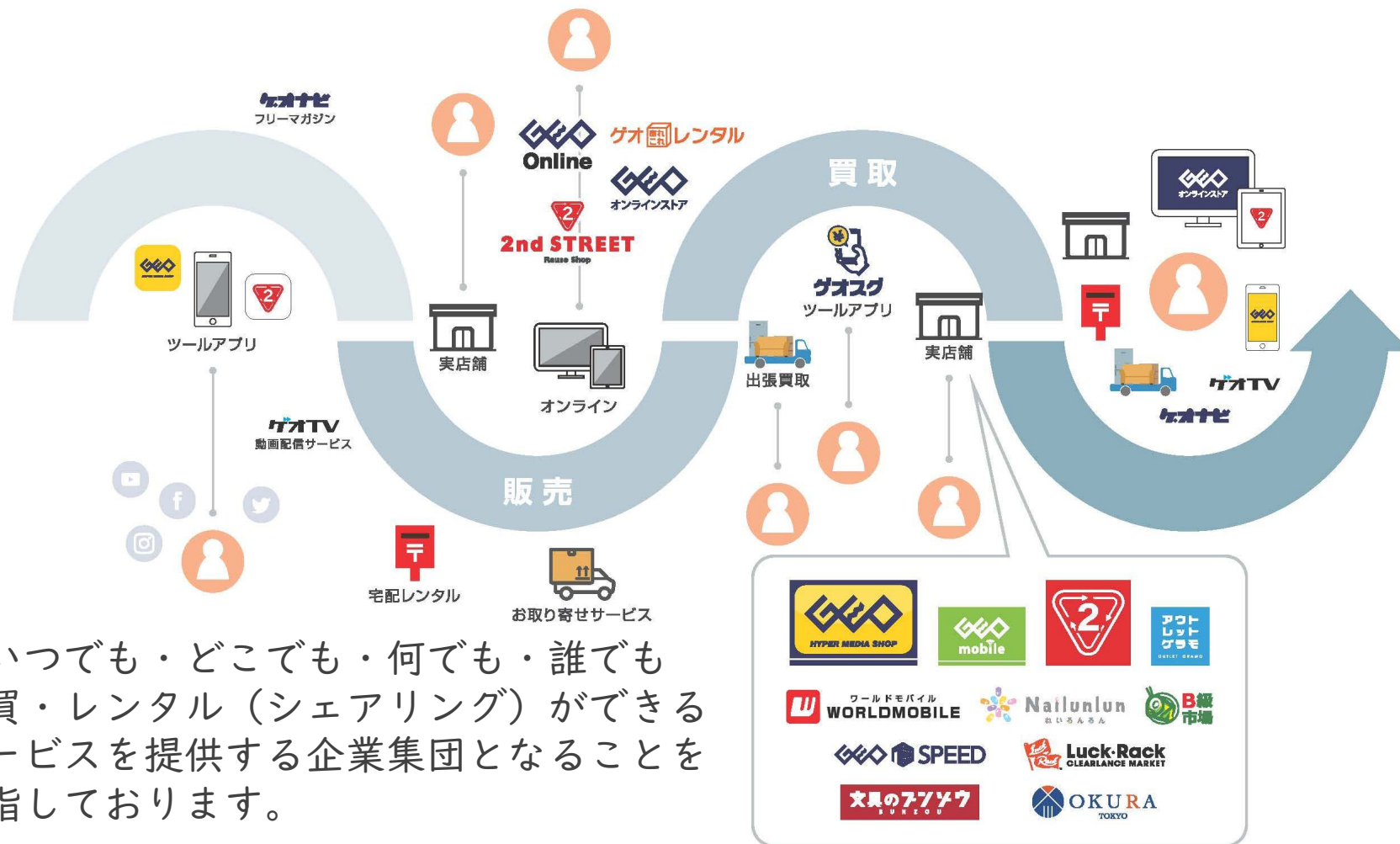
・社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・会社設立	1989年（平成元年）1月
・本社所在地	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・代表取締役	遠藤 結蔵
・資本金	89億69百万円
・株式上場市場	東京証券取引所 第一部

2019年9月30日時点

7

ゲオグループ




当社が提供するサービス・商品を多くのお客様に知っていただき、販売・買取、レンタル(シェアリング)の実店舗とオンライン環境との境目をなくしていきます。



いつでも・どこでも・何でも・誰でも
 売買・レンタル(シェアリング)ができる
 サービスを提供する企業集団となることを
 目指しております。

7

ゲオグループの主なショップと取扱い商材

		リユース系 リユース			メディア系 リユース		レンタル		新品		アミューズメン 施設	店舗数 (2019年9月末時 点)
		衣料	服飾 雑貨	家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	携帯 電話 スマート フォン	DVD	BOOK・ CD	衣料	ゲーム 機器 ゲーム ソフト		
ゲオショップ ゲオモバイルショップ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,212
セカンドストリートショップ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	648
アミューズメント施設		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経営管理部

TEL：052-350-5711 FAX：052-350-5701

Email：info@geonet.co.jp